

第57回 岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部 兼
平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 岡山県予選会

日時	2018年6月17日	10:00	女子	決勝
会場名	笠岡総合体育館			Mコート 第I試合

○ 就 実 78 { 17 - 20
15 - 8
22 - 24
24 - 17 } 69 倉敷翠松 ●

審判名	主 審	前花直哉					副 審	柏木琢磨, 岸本祥也					
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
小坂 幸羽 (C) *	4	6	2			2	角場 沙綾 (C) *	4	5		2	1	3
山中 茜音	5	-					福山 怜実 *	5	18		8	2	4
佐藤 愛莉	6	-					元林 沙月 *	6	2		1		2
平井 日奈子	7	-					梅澤 実佑	7	-				
岩谷 樹	8	-					高橋 実優 *	8	15	3	2	2	2
中矢 愛乃 *	9	2		1		1	山本 明依	9	-				
岡村 季保	10	8		4		2	下橋 永奈	10	-				
松尾 梨央 *	11	23	1	8	4		平野 愛	11	-				
若狭 朱理	12	-					三島 瀬理海	12	-				
井上 玲菜	13	-				3	水嶋 嶺花 *	13	7		3	1	
島田 光理 *	14	37	6	6	7	1	荒木 若葉	14	-				
長尾 優里衣 *	15	2			2		土家 麻愛	15	2		1		
川崎 莉緒	16	-					中尾 心咲	16	-				
古川 裕理	17	-					産賀 菜名	17	-				
東 小梅	18	-					原田 亜未	18	20	4	3	2	5
合 計		78	9	19	13	9	合 計		69	7	20	8	16

戦 評

1P 両チームマンツーマンでゲームスタート。翠松⑧がドライブからファウルを誘いフリースロー。2本とも決め最初の得点。その後⑥、⑧、④とシュートを決めていく。就実⑭、⑪、⑮のフリースローで得点を重ねていく。序盤、一進一退の攻防が続くが翠松の素早いパスワークから⑤が着実に決めていく。就実はなかなかシュートが入らず苦しいスタートであったが⑪のターンシュート、⑭のパスカットからの速攻で得点を重ね、就実17-20翠松で1P終了。

2P 就実ボールでゲームスタート。就実⑩のレイアップ、⑭の3ポイントで開始早々に同点とする。翠松は④→⑤のハイロープレーからのリバウンドを⑤がねじ込む。就実⑪のミドルへのドライブ、⑪のレイアップでついに逆転し、翠松タイムアウト。タイムアウトが終わっても就実のペースは変わらず、翠松⑧が再三にわたってシュートを打つがリングに弾かれる。翠松の得点が止まる間に就実⑭、⑪が確実に得点を重ねていき、就実32-28翠松で前半終了。

3P 両チームとも前半と同じマンツーマンでスタート。翠松⑤がジャンプシュートで先制する。先に流れを掴みたい翠松だが序盤で④が3つ目のファウルでベンチへ下がる。残り8分、翠松⑧の3ポイントから試合が大きく動き出す。就実は⑭、④が3ポイントを立て続けに決め引き離しにかかるが、翠松④に変わって入ってきた⑮が3ポイントやドライブからシュートを決め、粘りを見せる。就実も⑩のドライブ、⑪のジャンプシュートで点の取り合いとなる。就実が最大8点リードまで開くも、就実54-52翠松の2点差で3Pを終える。

4P 翠松⑧がドライブから幸先のいいシュートを決める。一気に点差を広げていきたい就実が⑭の3ポイントや⑪のバスカンからフリースローを確実に決めていく。4Pも互いに譲らない展開となるが、試合時間も残り5分となり就実⑩がジャンプシュートを2本決め、⑪から⑭のゴール下のパスからシュートも決まり、7点差をつける。就実の粘り強いディフェンスから翠松は攻め所が徐々になくなり苦しい展開となる。翠松⑧が苦しいながらも3ポイントを決めたり、流れを変えるためにタイムアウトを取ったりして追いつきたいところがシュートは決まらない。就実はペースを落とさず、最後④、⑭の3ポイントも決まり5年連続35回目の県総体優勝を決めた。

